

ははたけ！
JTサンダース



竹田 英司

私事で恐縮だが、先日、このコラムの読者から感謝の手紙を頂いた。いわば「人生初のファンレター」だ。教え子やガイドした顧客から礼状をもらったことはあるが、会ったことのない方からの手紙は今までにない充実感を得た。この場を借りてお礼を申し上げるとともに、選手がよく語る「皆さ

「応援が力」を初体感

まの応援がわれわれの力になる」ことを初めて体感した。思えば、私がJTサンダースに入部した理由の一つは、このコラムを執筆できることだった。選手やスタッフたち30人のうち、新聞の連載を執筆できるのは私だけ。そこに誉れがあり、選手の隠れた魅力を引き出し、寝食を共にするマネジャーだからこそ知り得るエピソードも披露できる。これをきっかけにJTサンダースに親しみを抱き、声援も送ってもらえれば、望外の喜びである。

声援と言えば、選手の激励も力になる。ある選手が私にこう言った。「僕たち選手は19人で戦います。僕はその19人の中の一人にすぎない。でも竹田さんはたった一人でマネジャーとして戦います。だから僕たちは竹田さんを応援します。せつかくJTのマネジャーになったのなら、日本一のマネジャーを目指してください。僕たちと一緒に日本一になりましょうよ！」

もちろんだ。万感の思いを込めて言わせていただく。「皆さまの声援がわれわれの力になります。応援よろしくお願いします！」

(JTマネジャー)

ファンの応援メッセージを掲げる
小野寺(左)、井上航(中)、山本各選手

